

# ～ デザイン効果を利用したポスター制作 ～

井関 彩帆  
菊野 百音

渡邊 家藤  
京平 克成  
指導者

亀井 一登  
尾崎さゆり  
井上 淳一

## 1 研究の背景

色やレイアウトなどのデザインによる効果はどのようなものか

### 課題

SSH成果報告会のチラシを制作し、デザインの効果を調査する。

文字担当班と連携してポスターをデザインする

## 2 カラーユニバーサルデザイン

カラーユニバーサルデザイン…多様な色覚に配慮して、情報がなるべくすべての人に正確に伝わるように、利用者の視点に立つてデザインすること

すべての人が見やすいポスターを  
作りたい！

## 3 ポスターについて

SSH成果報告会のチラシを制作する

- ＜チラシのデザインを担当する＞
  - ・ 独自性のあるデザインに工夫する
  - ・ すべての人にとって見やすい色を選択する
- ＜文字担当班と連携し、レイアウトを決める＞
  - ・ サイズ、配置を設定する
  - ・ 文字担当班の考案したキャッチコピーを配置
  - ・ 日付、時間等の詳細を添付する

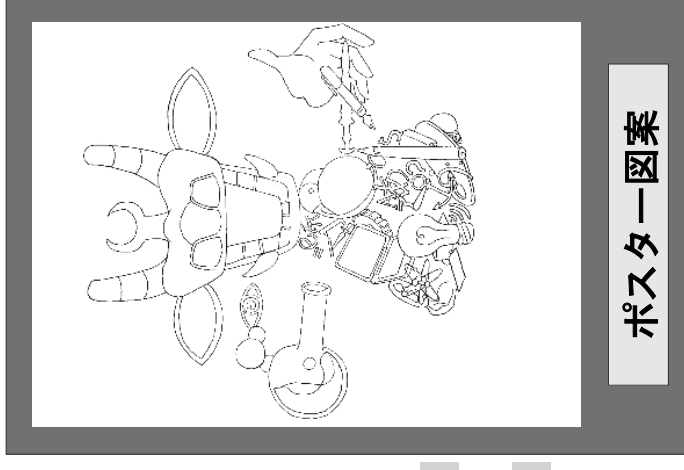
## 4 実験の方法

- 1 依頼されたSSH報告会のチラシを作成しformsでアンケートを実施
- 2 SSH報告会のチラシと一緒にアンケートボックスを設置し、その場でアンケートをとる

アンケートの内容

- ・ デザインで良かった点  
(色、文字、レイアウト、配置 等)
- ・ さらに工夫が必要な点  
(上記の項目についてのアドバイス)

このアンケート結果を、自分たちの今後の宇和島経済活性化の研究に活用する。



ポスター図案

## 5 考察

- ・ 新しく作成したキャラクターに注目がいき、カラーユニバーサルデザインを使用しているため、すべての人に見やすくなっていると思われる。
- ・ 広告の見た目や伝えたいことなどの受け取り方は、その人によって違うので、今回の実験を基にどのような形態が人の意識を引くのかという点に焦点を当てていく必要があると考える。